

## 大学院特別講義

東京大学大学院工学系研究科国際工学教育推進機構

准教授 内堀 朝子

### 講義題目

手話言語学への招待—日本手話統語論を中心に

### 講義概要

本講義では、(i)手話言語学の基礎的内容を解説し、(ii)日本手話の特徴とその社会的背景を概観したのち、講師によるこれまでの日本手話統語論の研究トピックについて取り上げる。各項目の概略は、以下の通りである。(i)音声言語とモダリティが異なることから見られる手話言語の主要な特徴(空間使用、非手指表現、CL表現など)について解説する。また、手話言語は音声言語同様に自然言語として位置づけられるが、その代表的な根拠となる母語習得過程や失語症事例からの報告を紹介する。(ii)日本手話の基本的な文法特徴を解説し、実際の研究の背景となる日本で用いられる手話のタイプとそれらの使用環境について、概観する。(iii)講師によるこれまでの日本手話の統語論研究について、WH疑問文(Uchibori and Matsuoka 2016 ほか)、空目的語(上田・内堀 2021 ほか)、文末指さし(内堀・今西・上田 2013 ほか)、ロールシフト(RS)(内堀・上田 2023ab ほか)などを取り上げる。

Asako Uchibori and Kazumi Matsuoka (2016) "Split movement of wh-elements in Japanese Sign Language: A preliminary study," *Lingua* 183: 107-125.

内堀朝子・今西祐介・上田由紀子(2023)「文末指さし」、松岡和美・内堀朝子(編)『手話言語学のトピック—基礎から最前線へ』, 113-143. 東京: くろしお出版.

内堀朝子・上田由紀子(2023a)「日本手話(愛媛方言)に見られる様態副詞の非手指形態素の波及とRS領域」, 『日本言語学会第166回大会予稿集』 239-245. 日本言語学会.

内堀朝子・上田由紀子(2023b)「日本手話(愛媛方言)において述語を形成する主要部に標示される行動RSについて」, 『日本言語学会第167回大会予稿集』 317-323. 日本言語学会.

上田由紀子・内堀朝子(2021)「日本手話の削除現象—非手指標識の波及とその示唆」, *Scientific Approach to Language* (神田外語大学大学院紀要) 27: 23-45.